

# INFORMATION ご利用案内

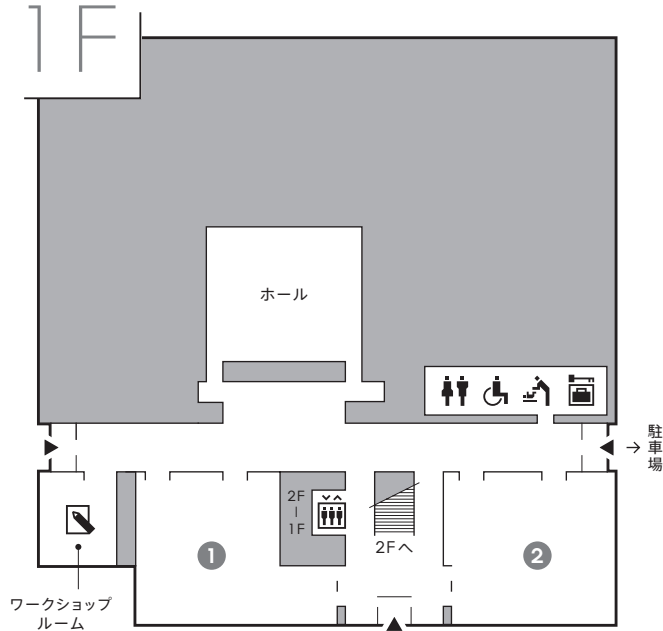
- 展示室 — 10:00-17:00 \*入場は開場30分前まで。展覧会により異なる場合あり
- 休館日 — 月曜日 \*祝日の場合は翌平日  
\*店舗営業日・時間は中面をご覧ください
- 観覧料 — 展覧会ごとに異なります
- チケット — 当館チケットサイトなどでご購入いただけます  
\*詳しくは当館ホームページをご確認ください
- \*臨時休館、営業時間変更の場合がございますので、当館ホームページにてご確認ください

# ACCESS アクセス



- 電車**
  - 京阪中之島線渡辺橋駅(2番出口)より徒歩約5分
  - Osaka Metro 四つ橋線 肥後橋駅(4番出口)より徒歩約10分
  - JR 大阪環状線福島駅 / 東西線 新福島駅(2番出口)より徒歩約10分
  - 阪神福島駅より徒歩約10分
- バス**
  - 大阪シティバス JR大阪駅前より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分
- 車 | 自転車**
  - 駐車場72台(有料・時間貸)
  - 駐輪場130台(うち原付7台)

大阪中之島美術館  
530-0005 大阪市北区中之島4-3-1  
TEL: 06-6479-0550 WEB: https://nakka-art.jp  
X f @ @nakkaart2022



## 1 インテリア | HAY OSAKA

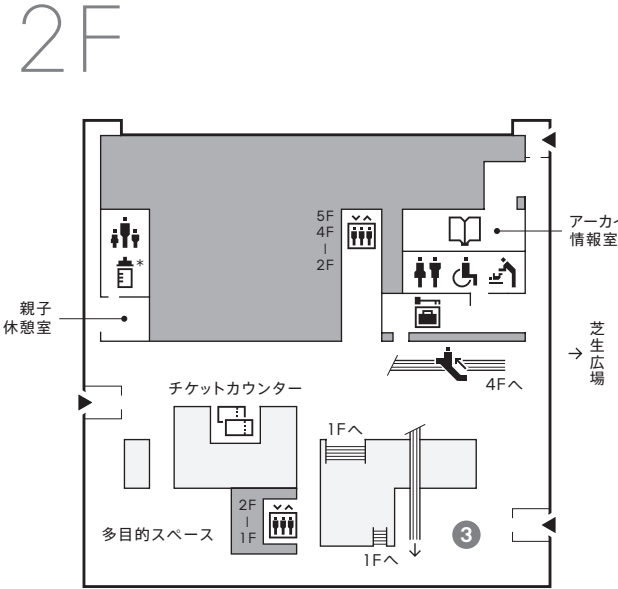


デンマーク発インテリアプロダクトブランド。ライフスタイル全体をコーディネートできるアイテムが揃います。  
[営業時間] 11:00-18:00 \*不定休  
[TEL] 06-6467-8682

## 2 カフェレストラン | Musée KARATO



「ミュゼカラト」では、ゆったり128席のくつろぎ空間で、彩り豊かなメニューをご用意しております。オールタイムのお食事はもちろん、デザートセット、アフタヌーンティーセット、アルコールもお楽しみいただけます。  
[営業時間] 11:00-21:00 終日営業  
ラストエントリー 19:30 \*不定休  
ラストオーダー 20:30 \*席数128席(内テラス席20席)  
[TEL] 06-6940-7025



## 3 ミュージアムショップ | dot to dot today



自由な視点でセレクトしたプロダクトをはじめ、大阪に縁のあるアーティストとのコラボグッズや、ここでしか出会えないユニークなオリジナルグッズをお届けします。  
[営業時間] 10:00-18:00  
\*月曜日定休(祝日の場合は翌平日、イベント開催などによっては営業)  
[TEL] 080-4701-5219

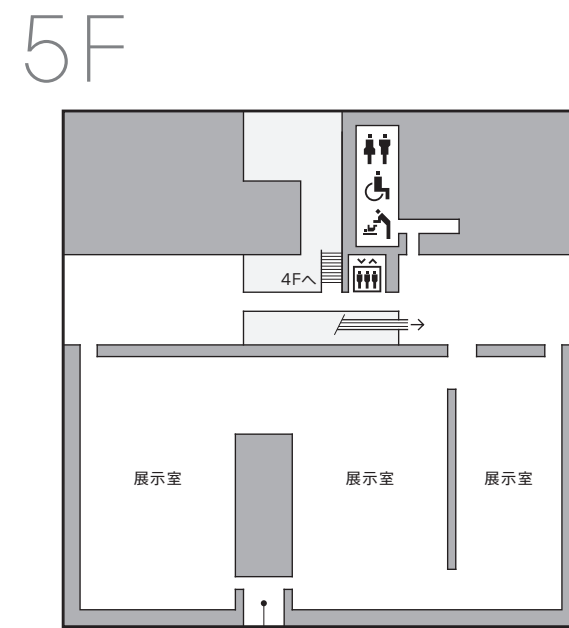
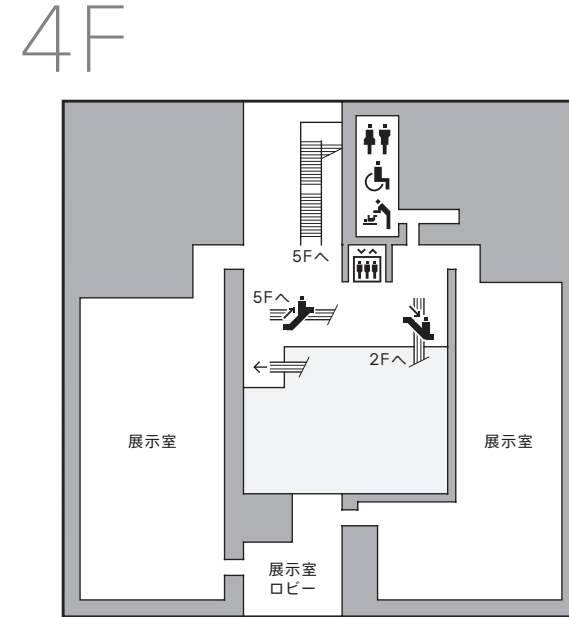
## 設備について

- コインロッカー**  
1、2階にございます。大きなお荷物はコインロッカーにお預けください。100円硬貨は使用後に返却されます。コインロッカーに入らないお荷物はチケットカウンターにてお預かりします。\*コインロッカーのご利用は当日に限ります。
- 車いす / ペギーカー**  
チケットカウンターにてお貸出ししています。ご希望の方はチケットカウンターにてお申し出ください。なお台数には限りがあるため、お貸出しできない場合がございます。

\*多目的トイレには、オストメイトとユニバーサルシート(介護ベッド)がございます。

- トイレ
- 多目的トイレ\*
- おむつ交換室
- 親子トイレ
- 授乳室
- ロッカー
- エレベーター
- エスカレーター

# FLOOR MAP



## アーカイブズ情報室 2F



美術館が保有する情報資源を調査・研究利用するための施設です。事前の予約手続きにより、アーカイブズ情報室でどなたでも調査・研究のための閲覧ができます。

[開室時間] 10:00-17:00  
(予約閲覧室への最終入室は16:00)  
\*日曜日、月曜日、祝日、月曜祝日の翌日、年末年始、特別整理期間は休室  
飲食物の持ち込みならびに室内設置備品の持ち出しは固くお断りします。

[左]「プレスアート 第1号」1937年発行、「プレスアート及び関係資料(1937-1996, undated)」 [右]具体美術協会「グタイピナコセカパンフレット」1962年発行、「具体美術資料委員会田原資料(1937-1993, undated)」

## ラーニング・プログラム



「ナッカキッズ」としてさまざまなラーニングプログラムを実施しています。子どもたちがのびのびと自由にアートを楽しめる場を提供します。活動内容は当館ホームページからご覧ください。



## 入館にあたってのお願い

- 敷地内は全面禁煙です。
- 館内での飲食はご遠慮ください。水分補給や、薬の服用の際は、展示室(展覧会会場)以外のパブリックスペースをご利用ください。なおお持ち込みいただける飲料は無糖のお茶とお水に限ります。
- 館内で展示している作品および作品ケースには触れないでください。
- 展示室内に限らず、館内での三脚・自撮り棒のご利用はご遠慮ください。また安全確保のためエスカレーターでの撮影はご遠慮ください。ほかのお客様、スタッフを撮影することは、肖像権の侵害に当たる可能性がありますのでご遠慮ください。
- 展示室内へは再入場できません。館内ではスタッフの誘導・指示に従ってください。
- 展示室内での携帯電話での通話は周囲のお客様のご迷惑になりますのでご遠慮ください。電源をお切りいただくか、マナーモードに設定のうえ、ご確認ください。
- 室内は作品保護のため、温度を20°C-23°Cに設定しております。お手持ちの衣服にて温度調整をお願いいたします。

# EXHIBITION SCHEDULE

## 2026.4-2027.3

### 展覧会 スケジュール

NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA



5F	4F	2F
2026	2026年3月25日(水)	
4	2026年4月25日(土)	2026年3月25日(水) - 6月21日(日) 会場   4階展示室
5	2026年7月4日(土)	没後50年 高島野十郎展
6	2026年8月21日(金)	6月21日(日)
7	2026年10月10日(土)	2026年7月4日(土)
8	2026年10月31日(土)	スイス絵画の異才 カール・ヴァルザー
9	2026年12月20日(日)	9月27日(日)
10	2027年1月9日(土)	Osaka Directory Supported by RICHARD MILLE
11	2027年1月31日(日)	13 橋 葉月 11.14-12.13
12	2027年3月22日(月・休)	14 迫 鉄平 12.19-1.17
2027	2027年3月22日(月・休)	15 乾 真裕子 1.23-2.21
1	2027年10月10日(土)	
2	2027年10月31日(土)	
3	2027年12月20日(日)	

# SCHEDULE

## 没後50年 高島野十郎展 No.1

2026年3月25日(水) - 6月21日(日)  
会場 | 4階展示室

高島野十郎(1890-1975)は、「蠟燭」や「月」などを独特の写実的筆致で描く福岡県久留米市出身の洋画家です。初公開も含めた160点超を展示する過去最大規模の回顧展で、大阪では初めて開催されます。「孤高の画家」と呼ばれてきた野十郎の芸術が形成されたルーツを遡り、その真髓に迫ります。

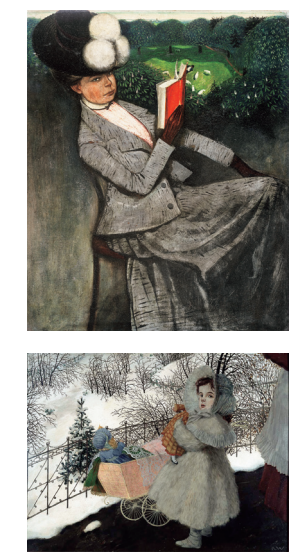


左:高島野十郎《蠟燭》1912-26年 福岡県立美術館  
右:高島野十郎《からすうり》1935年 福岡県立美術館

## スイス絵画の異才 カール・ヴァルザー No.3

2026年7月4日(土) - 9月27日(日)  
会場 | 4階展示室

カール・ヴァルザー(1877-1943)は20世紀のスイスの美術家です。20歳代より過ごしたベルリンで、優美な線や色に深い意味を潜ませた独特の絵画を描き、舞台美術や挿絵・装幀の分野でも活躍しました。1908年に来日し明治期の風俗や風景を描いています。本展は全作品日本初の回顧展です。



上:カール・ヴァルザー《婦人の肖像》1902年 ゴットフリート・クラー-財団(新ビール美術館寄託)  
下:カール・ヴァルザー《人形の乳母車と少女》1905年以前 新ビール美術館

## 驚異の部屋の私たち、消滅せよ。 No.2

—森村泰昌・ヤノベケンジ・やなぎみわ—

2026年4月25日(土) - 7月20日(月・祝) 会場 | 5階展示室

国際的に活動しつつ時に交錯してきた三人の美術家が、万博ポスターに、初めてともに展覧会企画を立ち上げました。二年にわたる綿密な打ち合わせを経て生まれた、コラボレーションによる新作も登場します。その協働にあってもそれぞれが絶対的に孤独な表現者として、個々の作品世界を美術館という舞台でぶつけ合い、本展は、彼らのこれまでの活動が凝縮された「驚異の部屋」となります。



メインビジュアル

## フェルメール 《真珠の耳飾りの少女》展 No.4

17世紀オランダ絵画の名品、奇跡の再来日

2026年8月21日(金) - 9月27日(日) 会場 | 5階展示室

17世紀オランダ美術を代表する画家フェルメール(1632-1675)。その最高傑作の1つとされる《真珠の耳飾りの少女》を14年ぶりに日本で公開します。その他にもマウリッツハイス美術館所蔵の名品を展示する、またとない機会になります。

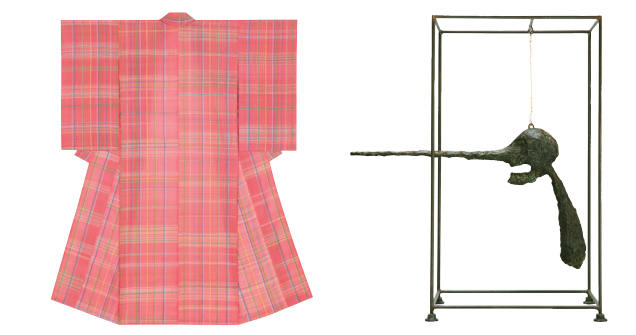


左:ヨハネス・フェルメール《真珠の耳飾りの少女》1665年頃  
右:マリア・ファン・オーステルウェイク《装飾的な壺の花》1670-1675年頃? すべて マウリッツハイス美術館 © Mauritshuis, The Hague

## NHK日曜美術館 50年展 No.5

2026年10月10日(土) - 12月20日(日) 会場 | 5階展示室

NHK「日曜美術館」は、1976年の放送開始から2000回を超える長寿番組です。本展では番組の歩みと、登場した美の魅力を、番組を彩ってきた古代から現代美術に至る数々の名作・名品によりお伝えします。あわせて番組の出演者たちの言葉も厳選して上映します。



左:志村ふくみ《舞姫》2013年 作家蔵 右:アルベルト・ジャコメッティ《髯》1947年 大阪中之島美術館

## 大英博物館 日本美術コレクション No.6

百花繚乱 ~海を越えた江戸絵画

2026年10月31日(土) - 2027年1月31日(日) 会場 | 4階展示室

大英博物館の日本美術コレクションから、初の里帰りとなる円山応挙《虎の子渡し図屏風》、喜多川歌麿の貴重な肉筆画《文読む遊女》をはじめ、江戸時代の屏風、掛軸、巻物の絵画作品と、歌麿、写楽、北斎、広重など8大浮世絵師を中心とした浮世絵の優品の数々をご紹介します。

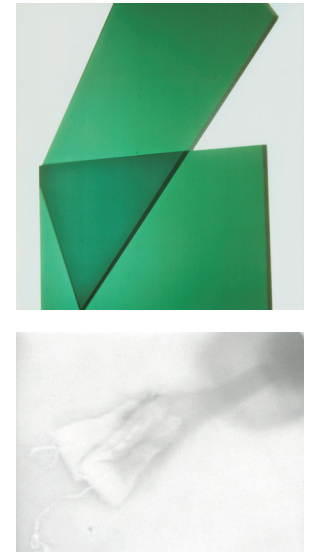


上:喜多川歌麿《文読む遊女》1805-1806年  
下:円山応挙《虎の子渡し図屏風》1781-1782年 すべて 大英博物館 © The Trustees of the British Museum

## つくる女性の100年展 No.7

2027年1月9日(土) - 3月22日(月・休) 会場 | 5階展示室

女性の表現者たちのおよそ100年の歩みをたどる展覧会です。道を切りひらいた作家から現代を生きる作家まで、教育環境や表現手段、ライフスタイル等の変化に注目しつつ、幅広く紹介します。それぞれ異なる環境の中で奮闘した彼女たちの軌跡の中に、状況が違っても共通するものを探り出しつないでゆきます。



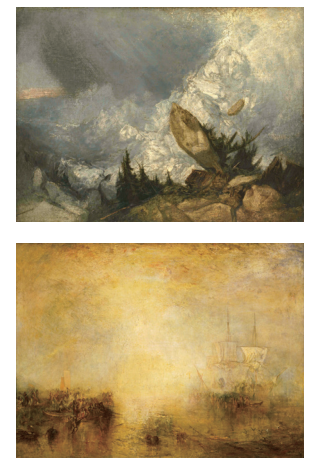
上:山沢榮子《What I Am Doing No.1》1974/1986年 大阪中之島美術館 © YAMAZAWA Eiko  
下:出光真子《おんなのさくひん》1973年 大阪中之島美術館

## テート美術館 ターナー展 No.8

—崇高の絵画、現代美術との対話

2027年3月13日(土) - 6月27日(日) 会場 | 4階展示室

英国絵画史上、もっとも偉大な画家、ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー(1775-1851)。本展はテート美術館が所蔵する油彩・水彩画など80点以上を紹介する、待望の大回顧展です。さらに、ターナーの絵画と現代美術を併置して対話させ、この巨匠の問題意識が後世のアーティストたちの関心とも響きあうことに眼を向けます。



上:J.M.W. ターナー《グリン州の雪崩》1810年展示 Photo: Tate  
下:J.M.W. ターナー《捕鯨船エラス号に万歳! もう一頭獲ったぞ!》1846年展示 Photo: Tate

## OSAKA directory



大阪中之島美術館が関西・大阪21世紀協会と主催する、関西ゆかりの若手アーティストを個展形式で紹介するシリーズの展覧会です。

13 橋 葉月  
2026年11月14日(土) - 12月13日(日)  
橋 葉月《私はここにて、同じ窓を見ている》2025年



14 迫 鉄平  
2026年12月19日(土) - 2027年1月17日(日)  
迫 鉄平《2024年9月24日、上人ヶ浜公園/劇場》2025年



15 乾 真裕子  
2027年1月23日(土) - 2月21日(日)  
乾 真裕子《月へは帰らない》2020年

## COLLECTION コレクション

19世紀後半から今日に至る日本と海外の代表的な美術とデザインの世界を核としながら、地元大阪で繰り広げられた豊かな芸術活動にも目を向け、約5000点にも及ぶ寄贈作品と購入作品をあわせ、6000点を大きく超えるコレクション(寄託品を除く)を築いてきました。今後もさらなる充実をめざしていきます。



1. 佐伯祐三《郵便配達夫》1928年
2. 木谷千種《浄瑠璃船》1926年
3. アメデオ・モディリアーニ《髪をほどいた横たわる裸婦》1917年
4. 早川良雄《第11回秋の秀彩会》1953年
5. コロマン・モーザー《アームチェア》デザイン1903年/製作1903-04年頃